

学校名 熊谷市立妻沼西中学校

所在地 熊谷市弥藤吾 2 3 5 9 - 2

電話 0 4 8 - 5 8 8 - 1 3 6 1

1 本校の概要

本校は、「学び 磨き 鍛える」を教育目標として「確かな学力を身に付け、健康で心豊かな生徒を育成する学校」を目指している。なかでも確かな学力を定着させるための方策として「読書活動の推進」を行っている。朝の10分間読書や学級図書を充実させ、本に親しむ機会を増やしている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・ 言語活動の充実など学力向上に結び付けた取組

(2) 実践の概要

ア 朝読書の実施

読書習慣を身に付けさせるため、特別日課を除く毎朝8:20～8:30までの10分



間を朝の全校一斉読書の時間としている。担任も生徒と共に読書を行う時間としていて、全校が静寂に包まれる。また、学級文庫も、様々な種類の本を用意することで、充実を図っている。そのため普段は本をあまり読まない生徒も朝読書をきっかけに、本を進んで読むようになり、読書推進活動につながっている。

イ 読書に興味を持たせる取組

(ア) 図書委員会の活動

委員会の活動として「図書室だより」の掲示物および「図書通信」の発行を行っている。また、図書室への関心を高め



てもらうために「リクエストボックス」を設置し、

生徒の希望にそうように図書購入時の参考になっている。

(イ) 学校図書館補助員との協力

学校図書館補助員

が2日に一度程度来校し、配架や掲示物の作成を行い、図書室の興味・関心が高まるように工夫している。



ウ 授業における図書室の利用

総合的な学習の時間や国語、理科、社会などの教科において、図書室を利用した学習を行い、課題の解決を行う授業の場としている。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 朝読書を取り入れることにより、落ち着いた雰囲気の中で第1校時を始めることができる。

イ 生徒の興味がわくような配架や掲示物の作成を行うことによって、図書の貸出し数が増えた。また、「総合的な学習の時間コーナー」や「おすすめの一冊コーナー」を設置し、本への関心を高めている。

ウ 授業での利用により、図書室にある資料から、必要な資料を選択して、情報を選べるようになった。

(2) 課題

本校は授業で図書室を利用することがあるが、その頻度は高いとは言えない。また、図書の貸出し数は増えたが、本を借りたことが無いまま3年間を過ごす生徒もいる。そのため、授業における図書室の活用を先生方に積極的に呼びかけていくこと。そして、魅力ある図書室にするために、「図書通信」や掲示物を充実させて、図書室を利用する生徒をさらに増やしていきたい。この2点の課題を、図書委員の生徒や学校図書館補助員と連携をしながら、解決していきたい。

